

4 第三次福山市教育振興基本計画

【基本理念】

「福山みらい創造ビジョン」で示す5つの挑戦の一つ「新たな価値を創出する人材育成」では、目標達成のための方向性として、「福山100NEN教育の推進」を掲げています。第三次教育振興基本計画においても、第二次教育振興基本計画に引き続き、『「福山100NEN教育」の推進』を基本理念とします。

次の100年へ、更にその先の未来に向かって
「福山100NEN教育」の推進
私たちの毎日が、未来になる。

社会が大きく変動し、人々の価値観が多様化している今日において、私たちには、一人一人の「違い」を尊重し、様々な人々と協働して、すべての人が自分らしく幸せに生きることができる社会を創っていくことが求められています。

「福山100NEN教育」は、だれもが、予測困難な変化を前向きに捉え、よりよい社会を創るために、自ら主体的に考え行動できること、そして、ふるさとに愛着と誇りをもち、ローズマインド^{※1}を胸に、様々な世界で活躍することをめざします。これは、世界が直面する環境・貧困等の問題を自らの課題とし、身近なことから取り組むことにより、「誰一人取り残さない」持続可能な社会を実現するSDGs^{※2}の理念に沿うものです。

持続可能な社会に向けては、すべての人が年齢や環境に関係なく、学ぶ機会をもち、「学びが面白い」と感じながら、自ら学び続けることが必要です。「福山100NEN教育」では、一人一人の「主体的な学び」を促し、よりよい社会を創るために、自ら学び育つ「人づくり」を目的に、「就学前教育」「学校教育」「生涯学習・社会教育」「文化財保護」の各施策に取り組んでいます。

とりわけ、急速に浸透するデジタル化は、五感で感じるリアルな体験と組み合わせることで、子どもたち自身の好奇心や意欲を高め、学びに向かい、学び続ける力を育み、人生100年時代において、いくつになっても学びを深めていくことにつながります。そうした学びを通して、自らの可能性を広げ、多様な他者と関わることで、だれもが夢や希望をもって豊かに生きていくことができる社会を創っていきます。

未来を予測することは困難です。だからこそ、これまでの価値観にとらわれず、挑戦することに大きな価値があります。私たち一人一人の毎日の積み重ねによって、だれもがワクワクできる未来を創っていく「未来を切り拓く教育」を着実に進めていきます。

【計画期間】

2022年度（令和4年度）～2026年度（令和8年度）の5年間

※1 福山の戦後復興から半世紀の歩みのなかで、誕生し根付いた言葉で、「思いやり 優しさ 助け合いの心」を表している。

※2 Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略。2015年（平成27年）9月の国連サミットで採択された2030年（令和12年）までの世界共通の目標。地球上の誰一人取り残さないことをめざし、世界が達成すべき17の目標で構成される。

【施策体系】

基本理念	基本目標	基本施策	めざす姿(5年後の姿)	
「福山100NEEN教育」の推進	《就学前教育》			
	心豊かにたくましく生きる力を育てる教育・保育の推進	学びの芽生えを育む遊びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちは、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に向かって主体的に生活や遊びを進めている。 ●子どもの育ちと学びが、就学前から学校教育へ、切れ目なく、続いている。 	
	《学校教育》			
	学びに向かう力・学び続ける力を育成する学校教育の推進	主体的・対話的で深い学びの推進	●子どもたちは、内発的動機に基づき、様々な課題を発見し、解決に向け取り組んでいる。	
		多様な学びの場の充実	●子どもたちは、自分に合った学び方を選択し、学ぶ意欲を発揮できている。	
		学びをつくる教職員研修の充実	●教職員は、「学びのメカニズム」への理解を深め、子どもの学びを促す実践力が高まっている。	
		教職員が元気・笑顔で勤務できる環境の充実	●教職員は、個性を発揮しながら、子どもたちとともに自ら挑戦し続けている。	
		子どもの学びを支える教育環境の整備	●すべての子どもたちの学習機会が保障され、学校は安全・安心な居場所となっている。	
	《生涯学習・社会教育》			
	新しい時代の学びや地域づくりを支える生涯学習の推進	社会教育の充実	●多くの住民が、世代を超えて学び合い、様々な人々と協働する中で、主体的に地域づくりに取り組んでいる。	
知りたいを支える図書館サービスの充実		●図書館が地域の情報拠点として活用され、市民の暮らしに役立ち、生活を豊かにしている。		
《文化財保護》				
福山の誇りを次代へつなげる文化財の保存と活用	文化財の調査と保存	●福山の歴史文化とその価値を誰もが知り、触れ、学び、愛着と誇りを持ち、文化財を地域・社会全体で大切にしている。		
	地域と一体となった文化財の活用			